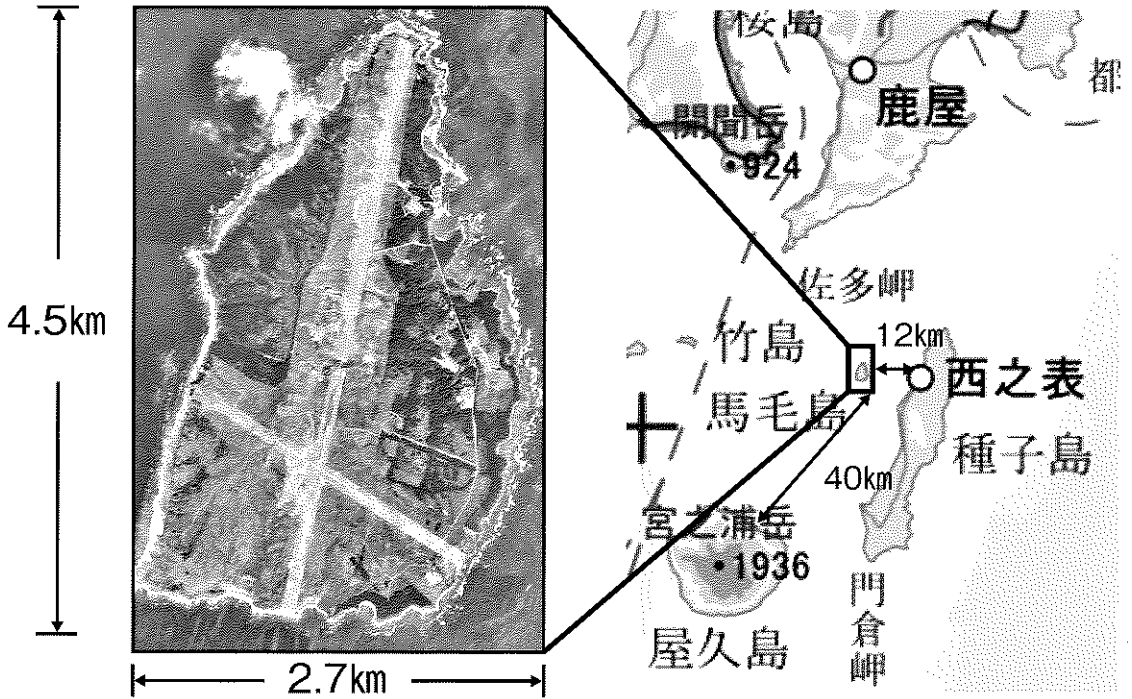


「馬毛島」への期待

写真と地図
国土地理院HP



防衛省は、今年1月、馬毛島の大半を所有する地権者と買収確認文書を交わし、直後に現地調査を行った結果、同島で滑走路や基地等の施設を整備しても問題がないことを確認しました。

馬毛島は、種子島の西12kmに位置し、南北4.5km、東西2.7km、面積8km²の無人島です。今後、防衛省は、馬毛島に基地を整備し、自衛隊の訓練場・米軍の空母艦載機着陸訓練（FCLP）候補地として活用することを検討しています。

馬毛島に自衛隊の施設ができれば、南西諸島に対する戦闘機・人員・物資の活動拠点となり、FCLP施設は米空母の着艦訓練のみならず、F-35Bの訓練にも活用できます。

種子島にはJAXA（宇宙航空研究開発機構）の宇宙センターと宇宙通信所など、わが国の宇宙開発にとって重要な施設が所在していますが、近年、同島沖で中国海軍艦艇の航行が確認されるようになり、中国資本による同島の土地買収問題も顕在化しています。

米CNNは馬毛島の「不沈空母」化への期待を報道しましたが、この島を効果的に活用することで、わが国の抑止力も確実に向上するのと思われれます。